

ふくしまの次代を担う多様な担い手確保支援事業（一部新規）

1 趣 旨

本県の主要な産業であり、地域社会の形成に欠かせない農業の成長産業化を図るため、地域の特色や急速に増加する農業法人など経営体個々に応じた新規就農者確保及び就農後間もない農業者等の育成を行う。

2 事業内容

- (1) 多様な就農者確保・育成対策事業
高齢化等による農業就業者の減少に対応するため、県内外での就農者確保に向けた推進活動や農業法人等での実習生受入、雇用マッチングの他、経営者向け人材確保・育成支援や新規就農者の定着促進の取組を行う。
- (2) 地域を支える新たな農業者等確保支援事業
地域の実情に応じ、新規参入者や新たな農業法人等、担い手の確保・育成を図るためのプラットフォームとなる組織の活動を支援する。
- (3) 地域を守る集落営農法人等人材確保支援事業
中心的担い手が不足する地域等に対し、普及組織が集落営農を進める活動を展開する。また、組織化・法人化の誘導、及び就農希望者の受け皿となる集落営農法人等の人材育成、経営改善などの取組を支援する。
- (4) 教育機関と連携した農業の魅力体験事業
県内の農業高校等と連携し、未来の就農者を生み出すための農業体験や農業者との交流授業を実施する。
- (5) 青年・女性農業者等活動支援事業
若い農業者で組織する団体や女性農業者の団体などを対象として、農業経営等のスキルアップや地域活性化につながる取組を支援する。

73

- | | |
|----------|--|
| 3 事業実施主体 | 2の(1) 県(委託ほか) |
| | 2の(2) 新規就農支援組織、市町村、JA等 |
| | 2の(3) 県、集落営農組織、集落営農法人、農業法人 |
| | 2の(4) 県 |
| | 2の(5) 青年農業者組織、女性農業者組織、公益財団法人福島県農業振興公社(福島県青年農業者等育成センター) |
| 4 予算額 | 101,010千円 |
| 5 補助率 | 2の(1) - |
| | 2の(2) 1/2以内 |
| | 2の(3) 2/3以内または定額 |
| | 2の(4) - |
| | 2の(5) 定額 |
| 6 事業実施期間 | 令和元年度～令和3年度 |

【担当課：農業支援総室農業担い手課 024-521-7340】

74

ふくしまの次代を担う多様な担い手確保支援事業

【R3当初 101,010千円】

ねらい

「地域」や「営み」に応じた就農者の確保・育成により農業の成長産業化をコミット

- コロナ禍の影響により地方回帰の兆しが見える中、地域に応じた受入体制や条件（生活環境、機械装備、農地、研修体制）を整え、県内外の就農希望者への働き掛けにより新規参入者を確保。

【R2年7月有効求人倍率 全国:1.08 福島県:1.19】

- 就農希望者の受け皿となる集落営農法人等の経営基盤の強化を図る。
- 農業就農者の減少と高齢化の中、主要な担い手として活躍する農業法人の規模拡大はこれまでの近隣住民からの労働力のみでは限界。新規学卒者を含めた雇用需要に応える。

	平成17年	平成22年	平成27年	(平成27年全国)
農業就業人口	13.5万人	10.9万人	7.7万人	(335.3万人)
60歳以上割合	71.5%	76.4%	80.4%	(69.1%)

※農林業センサスより

- 農業高校からは、雇用就農に興味を持つ学生が増加してきたとの声。学生に地域農業の魅力を伝えるほか、農業法人のリクルート・人材育成力をスキルアップ。
- 青年・女性農業者等、新規農業者の仲間づくりとスキルアップを図り、定着を促進。【農業青年クラブ:16団体 農業女子ネットワーク:68名、応援団:31企業・団体】

◆県内農地所有適格法人アンケート（H30.6 384社中156社回答）



多様な就農者確保・育成対策事業

【73,051千円 委託ほか】

■他産業にはない本県農業の魅力のアピール、新規参入者を確保

- リモート活用による県外での就農相談会出席、個別就農相談の実施
- 農業短大での就農相談会開催や「学生就職支援に関する協定」締結大学等教育機関での就農促進PRなど若い世代への働きかけ
- WEBによる就農情報提供や先輩農業者のロールモデル提供

■急速に増加する農業法人等の雇用需要に対応・人材育成力を高める

- 農業法人等での「お試し就農」による雇用マッチング
- 経営者向け・受入サポート組織向けの人材育成セミナー
- リモート活用による新規就農者・雇用就農者のoff-JT

人材募集

雇用対策

■地域を支える新たな農業者等確保支援事業【8,203千円 補助金ほか】

■中山間地など地域に応じた就農者を確保

- 新規就農者受入れ・育成を図るプラットフォーム組織の設立・活動支援
- 受入条件（住居、機械装備、農地、実践研修）の整理
- 参入希望者へのPR活動（就農相談、現地見学会）
- 新規参入希望者との交流会、現地見学会による関係人口拡大のための活動

■教育機関と連携した農業の魅力体験事業【2,025千円 県推進】

■農業高校等との連携を深化、未来を担う農業者を啓発

- 地域の農業法人等現場での農業就業体験
- リモート活用による農業法人や農業者等との交流授業

地域対応

教育連携

一部新

■地域を守る集落営農法人等人材確保支援事業【9,798千円 補助金ほか】

■集落営農の体制づくり・組織化を推進

- 将来にわたり地域の農地管理を受け継ぐ仕組みを構築（モデル8地区）
- 集落分析、合意形成促進により組織化・法人化へ誘導

■地域を守る集落営農法人等の人材育成・経営改善を支援

- 次代の経営者等の経営管理能力等を向上する活動支援
- 雇用に向けた呼び込み活動の支援など

集落営農推進

■青年・女性農業者等活動支援事業【7,933千円 補助金ほか】

■若い農業者の仲間づくりとスキルアップを支援、定着を促進

- 青年農業者・女性農業者団体の活動支援
- 農業青年クラブ、農業女子ネットワークの交流活動やスキルアップに向けた活動支援
- 農業の魅力発信、啓発活動、地域活性化に向けた活動支援

若者育成

（一部新）地域を守る集落営農法人等人材確保支援事業

令和2年10月 農業担い手課

